

過疎地域の若年世代の定住要因に関する時系列分析

重光 裕介¹・神田 佑亮²

¹学生会員 呉工業高等専門学校専攻科（〒737-8506 広島県呉市阿賀南 2 丁目 2 番11号）
E-mail: S18-yfdh@kure.kosen-ac.jp

²正会員 呉工業高等専門学校環境都市工学分野教授（〒737-8506 広島県呉市阿賀南 2 丁目 2 番11号）
E-mail: y-kanda@kure-nct.ac.jp

本研究は、今後の各地域のあり方を大きく左右する若年層の人口動態の現状を確認し定性的な考察を行い、多変量解析による裏付けをとることで動態の要因を解明し今後の過疎地の活性化に資する知見を得ることを目的として行った。

平成の大合併前の広島県内の市区町村(93市町村)を対象に1985～2015年の5階級別人口データを用いて、同一世代の5年ごとの推移を示すコーホート人口表を作成し、若年層の人口の変動を定量的に比較するための指標を設定した。またそれらの指標についての世代間比較分析を行い、大きな変動が確認された地域についてその要因の訂正的な考察を試みた。

その結果、若年世代の動態に対し、観光振興や産業発展等の要因は限定的であり、鉄道網の変化といったインフラ整備や高校・大学の立地といった要因が若者の動態に強い関連性があることが明らかとなった。

Key Words : *Depopulation problem, Population spill, Cohort analysis*

1. 背景・目的

過疎問題が我が国の重要な問題となって久しい。特に我が国の人口は2010年をピークに減少に転じ、全国各地の人口問題が改めてフォーカスされるようになってきている。特に過疎地域における人口流出の中でも特に若年層の流出は影響が大きくこの世代への、定住または流入対策が今後の地域のあり方そのものを左右する最重要課題である。

このような問題意識から、過疎問題に焦点をあてた研究がこれまでも行われてきた。例えば藤岡ら(1993)¹⁾は、既存統計や、過去の事例を用いて、人口流出の動態や、その社会的要因などについて詳細の把握を試みた。その結果、人口減少のうち、年齢別に見たところ主要な流出の要因は学校卒業者の進学や就職による流出であることが明らかにしている。さらに、大学や短大卒業後の地域への還流や地域出身の地域外居住者のUターンが極めて少ないという点が存在することが示唆された。また、作野(1986)²⁾はクラスター分析などを行い、過疎化過程における地域的差異がいかなるメカニズムによって生じているかについて一般化を試みた。その結果として過疎化過程の地域的差異をもたらす要因は都市を中心とした圏域レベルと役場集落を中心とした市町村レベルでの2重構造を有していることを明らかにしている。さらに後藤ら

(2015)³⁾は係数などを用いたうえで年齢構成バランスの分析を行い、得られた指標を用いた人口移動に関する分析を試みた結果、道路及び公共交通での利用時間、地価、定住・子育てに対する行政支援の有無が優位であることを明らかにした。しかし、商業面や病院など医療面のサービスの提供方法に関しては有意な影響が確認できなかった。この結果は大きな商業施設を地方都市に呼び込み開発するのではなく、交通を充実させることによるアクセスの良さが求められることが示唆される。

また定住対策や、それに向けた都市開発をめぐる研究については、三井田ら(2011)⁴⁾は過疎地域である新潟県入道村の概況、また地域開発の実態を述べるとともに、この地域において行われてきた若者定住対策について、過去から現在にかけて、幾つかの時代に分けてどのような取り組みが行われてきたかまとめ、そこから将来的な展望の考察を行った。定住対策として就業の場づくりが重要であることは各自治体ともに理解はしているものの地方部においては場所的条件から第2次、第3次産業の発展には限りがあるなどの地方部における若者の定住に関する厳しい現実を明らかにしている。

しかし、重要な世代である若年層や時系列推移ごとの推移に着目した研究については不十分であるなどといった課題がある。

そこで若者の動態がどのような要因によってもたらされているのかを確認するため、広島市の合併前市区町村をモデルケースとして、国勢調査より年齢各級別人口に対して時系列分析を行う。

2. 分析の考え方

本研究では、人口に関する代表的な統計である国勢調査を用いて分析を行う。平成の大合併前の広島県内の市区町村(全93市区町村)をモデルケースとし、1985年～2015年の5歳階級別人口データより、コーホート人口表を作成する、その後得られた情報をもとに若年世代に着目した人口動態指標を設定し、指標について年代ごとに大きく変動している箇所の要因を定性的に推察し、その上で多変量解析による裏付けを行うことで若者の人口動態の要因を明らかにする。

(1) 若年層の人口動態を示す指標

広島県における合併前市区町村の年齢ごとの人口動態を把握するためコーホート人口表の作成を行った。今回作成したコーホート人口表は、市区町村ごとに国勢調査の結果を、同じ期間に出生した人口が各市区町村、年齢時においての人口が把握できる形で作成した。

例示として、図-1に三原市の人口動態を示す。この図を若年世代に注目して確認すると、10～14歳までの間では特に大きな人口の変動はなく、20歳～24歳、25歳～29歳のタイミングで大きな変動が発生していることが明らかになった。この結果から20歳～24歳、25歳～29歳のタイミングにおいて若者の流出、流入に関する大きな意思決定があることが示唆される。本研究ではこの2つの変動を定量的に比較するために以下の2つの指標を設定する。

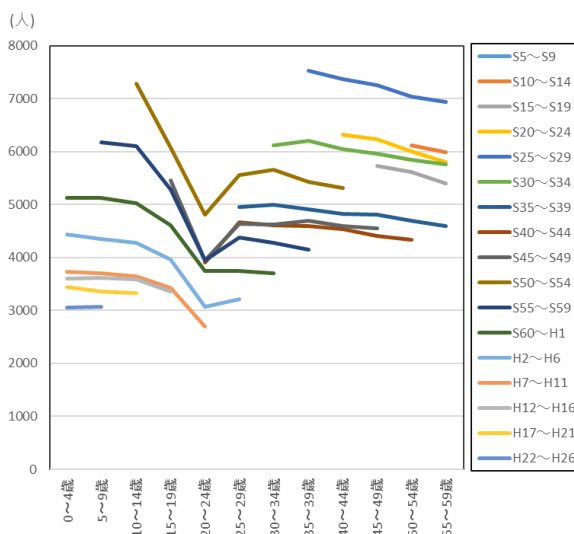


図-1 人口動態の時系列変化表

・「流出入率」

この指標は、分母をそれぞれの都市で生まれ育った人口であるといえる義務教育年齢の10歳～14歳の人口を設定し、分子を20歳～24歳という、おおよその人々が大学生として過ごしている学生人口を設定し1を引いた値に100でかけることで割合として変化を示している。

従って、この指標は進学等を経てどのような人口の動態を示しているかを示唆している。

$$\left(\frac{20\sim24\text{歳時の人口}}{10\sim14\text{歳時の人口}} - 1 \right) \times 100 \quad (\%)$$

・「非帰還率」

この指標は、上で述べた流出入率と同じように分母はそれぞれの都市で生まれ育った人口であるといえる義務教育年齢の10歳～14歳の人口を設定し、分子に関しては25歳～29歳という、学生を卒業して働き始めている労働人口を設定し、1を引いた値に100をかけることで割合として表現している。

従って、この指標は義務教育年齢から就職に際しどのような人口の動態を示しているかを示唆している。

$$\left(\frac{25\sim29\text{歳時の人口}}{10\sim14\text{歳時の人口}} - 1 \right) \times 100 \quad (\%)$$

本研究ではそれぞれの指標についてS50～S54年生まれ世代、S55～S59年生まれ世代、S60～H1年生まれ世代、H2～H6年生まれ世代、H7～H11年生まれ世代それぞれについて算出し、結果の時系列推移に基づいた分析を行う。

(2) 流出入率・非帰還率の時系列比較

流出入率、非帰還率の世代間の変動を比較するため、表-1, 2, 3の形で整理を行った。表1, 2, 3の各数値は総数、男性、女性それぞれの流出入率、非帰還率の前年度からの変化量を示しており、セルの色が赤い場合は増加、青い場合は減少したことを示している。また濃淡により増加減少それぞれの変化量を示している、その上で各市区町村の変動を見ると、広島市中区、因島市、江田島市、宮島町、黒瀬町は特に大きく増加しており、その他の地域で見ても尾道市や沼隈町、瀬戸田町、広島市南区などは増加傾向にあることが分かる。また、筒賀村や戸河内町、廿日市市などのように減少傾向にあることが分かる。また局所的に大きな増加、減少が存在する市町村があることも明らかとなった。全体的な考察として増加している市区町村、減少している市区町村はそれぞれ場所的に集まっている傾向があることが明らかとなった。これは、それぞれの地域におけるある市区町村の変動が周りの市区町村にも波及効果をもたらした結果だと示唆される。

表-1 階級別人口の時系列増加率 総数

市区町村 名	流出率		流入率		流出率		流出率		非帰還率		非帰還率		非帰還率				
	男女総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数			
		S51-S55	S56-S60	S61-H2	H3-H8	S51-S55	S56-S60	S61-H2	H3-H8	S46-S50	S51-S55	S56-S60	S61-H2	H3-H8	S46-S50	S51-S55	S56-S60
		比較年次	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
広島市中区		4%	-12%	-7%	24%		13%	-9%		40%							
広島市東区		-4%	-5%	3%	1%	-5%	0%	3%									
広島市南区		-12%	2%	10%	-7%	1%	-1%	7%									
広島市西区		-13%	-9%	4%	4%	-16%	2%	9%									
広島市安佐南区		12%	-1%	-4%	-4%	2%	4%	-4%									
広島市安佐北区		-7%	-3%	-2%	1%	-12%	-4%	-3%									
広島市安芸区		-8%	-10%	-1%	-2%	-2%	5%	3%									
広島市佐伯区		-13%	-7%	-2%	5%	-19%	-7%	1%									
呉市		2%	8%	5%	-2%	3%	9%	2%									
竹原市		-2%	2%	-2%	3%	-3%	-3%	-1%									
三原市		-1%	10%	-2%	2%	-5%	3%	1%									
尾道市		-1%	11%	5%	1%	-1%	7%	4%									
因島市		3%	8%	15%	10%	6%	13%	6%									
福山市		-1%	-4%	-3%	9%	-2%	-3%	10%									
府中市		-4%	0%	2%	1%	-4%	1%	2%									
三次市		-1%	-1%	-6%	1%	2%	-10%	-6%									
庄原市		1%	11%	-9%	13%	3%	-6%	4%									
大竹市		-4%	3%	1%	-1%	-3%	6%	8%									
東広島市		22%	7%	-25%	-15%	15%	-1%	-15%									
廿日市市		-13%	-11%	-4%	8%	-20%	-14%	-2%									
府中町		-15%	2%	-1%	-2%	-3%	-4%	6%									
海田町		-7%	1%	2%	-1%	-12%	-11%	10%									
神辺町		4%	3%	1%	3%	1%	6%	3%									
熊野町		4%	2%	-4%	0%	-2%	5%	-3%									
坂町		2%	2%	15%	-9%	10%	17%	-8%									
江田島町		-1%	30%	9%	7%	18%	-5%	6%									
菅戸町		-2%	-1%	2%	4%	2%	0%	2%									
倉橋町		-2%	-3%	5%	5%	4%	-6%	7%									
下蒲刈町		-27%	-4%	4%	-3%	0%	3%	7%									
瀧川町		0%	3%	5%	-12%	-3%	2%	-14%									
大野町		-11%	-4%	-1%	5%	-8%	-4%	8%									
湯来町		-9%	-5%	-1%	2%	-17%	-5%	-4%									
佐伯町		-3%	-4%	-12%	-1%	-12%	-10%	-7%									
吉和村		15%	-33%	-19%	-15%	-31%	-7%	-12%									
宮島町		5%	4%	31%	39%	11%	4%	30%									
能美町		-3%	2%	-1%	13%	4%	-7%	17%									
沖美町		0%	-1%	13%	3%	-10%	8%	16%									
大柿町		-5%	1%	7%	-2%	-7%	1%	11%									
加計町		-6%	-4%	-2%	-3%	-10%	-1%	2%									
簡賀村		4%	-9%	-16%	13%	19%	-26%	-5%									
戸河内町		-1%	-8%	11%	-6%	-2%	-13%	12%									
芸北町		3%	-4%	-6%	8%	-10%	-14%	-1%									
大朝町		3%	-7%	-13%	8%	-11%	-13%	4%									
千代田町		-7%	-3%	9%	6%	-2%	-3%	-3%									
豊平町		-3%	7%	-8%	6%	2%	-2%	-3%									
吉田町		-1%	0%	1%	0%	-1%	-2%	-4%									
八千代町		-6%	7%	-8%	17%	-8%	4%	7%									
美土里町		3%	0%	-6%	1%	4%	-5%	-2%									
高宮町		-10%	4%	2%	-4%	-8%	-7%	3%									
甲田町		0%	6%	-8%	7%	1%	-1%	-3%									
向原町		4%	-5%	13%	7%	9%	-10%	16%									
黒瀬町		29%	14%	-10%	1%	-9%	-12%	-4%									
福富町		2%	-1%	-3%	-3%	-6%	-16%	0%									
豊栄町		-3%	13%	-2%	-7%	10%	-12%	0%									
大和町		3%	-7%	15%	-12%	2%	-8%	12%									
河内町		3%	1%	-5%	-4%	-2%	-1%	-2%									
本郷町		-2%	-3%	11%	4%	4%	-4%	8%									
安芸津町		-1%	0%	1%	1%	5%	-5%	-5%									
安浦町		-6%	-4%	6%	-4%	-2%	-1%	-5%									
川尻町		3%	-7%	-4%	-7%	-6%	2%	-13%									
豊浜町		7%	14%	-9%	-2%	6%	14%	-10%									
豊町		1%	10%	22%	-10%	5%	-2%	5%									
大崎町		6%	6%	5%	14%	0%	1%	14%									
東野町		9%	10%	34%	16%	9%	9%	17%									
木江町		5%	-4%	8%	24%	8%	8%	7%									
瀬戸田町		2%	9%	11%	5%	8%	8%	7%									
御調町		-6%	0%	6%	8%	-6%	1%	-3%									
久井町		0%	0%	0%	0%	-11%	-6%	-2%									
向島町		3%	-5%	9%	-4%	-2%	-3%	0%									
甲山町		-5%	3%	-1%	1%	-11%	1%	-2%									
世羅町		4%	0%	7%	-6%	8%	-8%	-6%									
世羅西町		8%	8%	-9%	5%	10%	-5%	-3%									
内海町		2%	-9%	-6%	-1%	4%	-9%	-3%									
沼隈町		-4%	6%	18%	-9%	7%	14%	4%									
新市町		-5%	4%	3%	-1%	-2%	7%	3%									
神石町		13%	-7%	-2%	-3%	15%	-17%	1%									
油木町		17%	-9%	-3%	5%	9%	-9%	1%									
豊松村		-3%	5%	-7%	13%	5%	-17%	-1%									
(神)三和町		-4%	2%	-16%	5%	4%	-5%	-6%									
上下町		2%	-13%	-1%	6%	-3%	-16%	3%									
総領町		7%	-8%	-8%	2%	6%	-27%	-9%									
甲奴町		2%	-6%	-5%	3%	-7%	-6%	-9%									
君田村		7%	-18%	-14%	12%	4%	-20%	-5%									
布野村		2%	2%	-6%	-4%	-8%	1%	-6%									
作木村		10%	-14%	-5%	-2%	-4%	-21%	4%									
吉香町		-2%	-5%	5%	0%	-3%	-14%	10%									
三良坂町		-6%	-12%	0%	-6%	-14%	-14%	2%									
双三和町		2%	2%	-8%	13%	-14%	2%	1%									
西城町		2%	-10%	3%	7%	6%	-13%	-3%									
東城町		-2%	-4%	7%	2%	-2%	-7%	1%									
口和町		0%	-1%	-8%	11%	2%	-4%	-6%									
高野町		4%	-10%	13%	-1%	-8%	-8%	1%									
比和町		-15%	0%	2%	14%	-10%	-2%	-1%									

表-2 階級別人口の時系列増加率 男性

市区町村 名	流出率		流入率		流出率		流出率		非帰還率		非帰還率		非帰還率				
	男女総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	
		S51-S55	S56-S60	S61-H2	H3-H8	S51-S55	S56-S60	S61-H2	H3-H8	S46-S50	S51-S55	S56-S60	S61-H2	H3-H8	S46-S50	S51-S55	S56-S60
		比較年次	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
広島市中区		0%	-11%	-6%	24%		14%	-17%		45%							
広島市東区		-5%	-4%	2%	0%	-3%	-3%	5%									
広島市南区		-19%	0%	21%	-12%	-4%	0%	14%									
広島市西区		-9%	-11%	3%	3%	-17%	3%	10%									
広島市安佐南区		13%	-2%	-8%	-2%	1%	4%	-4%									
広島市安佐北区		-4%	-3%	-3%	3%	-11%	-5%	-3%									
広島市安芸区		-8%	-12%	-2%	-6%	0%	4%	10%									
広島市佐伯区		-11%	-6%	-4%	6%	-17%	-7%	1%									
呉市		3%	7%	10%	-1%	3%	13%	4%									
竹原市		-5%	3%	-3%	7%	-3%	0%	0%									
三原市		-2%	13%	-5%	5%	-4%	2%	2%									
尾道市		0%	15%	7%	2%	-1%	9%	5%									
因島市		6%	14%	21%	20%	9%	22%	6%									
福山市		0%	-6%	-2%	11%	-2%	-3%	15%									
府中市		-1%	-1%	5%	-1%	-1%	1%	5%									
三次市		0%	0%	-5%	2%	3%	-10%	-5%									
庄原市		-6%	12%	-4%	6%	2%	-3%	2%									
大竹市		-9%	9%	2%	-4%	-5%	12%	8%									
東広島市		19%	14%	-25%	-24%	20%	-3%	-16%									
廿日市市		-10%	-10%	-5%	8%	-23%	-7%	-3%									
府中町		-15%	4%	-2%	1%	0%	-5%	6%									
海田町		-7%	-3%	3%	1%	-8%	9%	16%									
神辺町		7%	-1%	1%	3%	-2%	5%	5%									
熊野町		5%	1%	-3%	-3%	-3%	8%	-3%									
坂町		2%	2%	18%	1%	9%	24%	-10%									
江田島町		11%	57%	16%	16%	31%	1%	9%									
菅戸町		-2%	-1%	4%	6%	1%	-2%	4%									
倉橋町		-4%	5%	6%	3%	2%	-5%	6%									
下蒲刈町		-26%	-5%	10%	3%	2%	2%	10%									
瀧川町		5%	2%	9%	-19%	-9%	4%	-7%									

表-3 階級別人口の時系列増加率 女性

市区町村名	流出率		流出率		流出率		非帰還率		非帰還率	
	女性		女性		女性		女性		女性	
	比較年次	S51-S55	S56-S60	S61-H2	H3-H8	S51-S55	S56-S60	S61-H2	S51-S55	S56-S60
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
広島市中区	7%	-13%	-9%	26%	12%	1%	34%			
広島市東区	-4%	-5%	4%	4%	-8%	2%				
広島市南区	-5%	3%	-3%	-3%	7%	-3%	0%			
広島市西区	-18%	-6%	5%	4%	-15%	2%	7%			
広島市安佐南区	10%	0%	0%	-5%	2%	4%	-4%			
広島市安佐北区	-10%	-4%	-2%	0%	-14%	-4%	-4%			
広島市安芸区	-9%	-7%	0%	1%	-5%	5%	-4%			
広島市佐伯区	-15%	-9%	0%	3%	-22%	-6%	1%			
呉市	1%	11%	1%	-2%	2%	5%	0%			
竹原市	1%	1%	-2%	-2%	-2%	-5%	-1%			
三原市	0%	7%	-1%	0%	-6%	3%	-1%			
尾道市	-3%	7%	3%	-1%	-2%	3%	2%			
因島市	1%	2%	7%	-1%	3%	3%	5%			
福山市	-3%	-2%	-3%	8%	-2%	-3%	6%			
府中市	-7%	-1%	0%	3%	-8%	1%	-1%			
三次市	-2%	-2%	-6%	-1%	1%	-10%	-8%			
庄原市	8%	9%	-14%	21%	5%	-9%	6%			
大竹市	2%	-3%	-1%	1%	-1%	1%	8%			
東広島市	24%	-1%	-23%	-7%	8%	1%	-14%			
廿日市市	-15%	-12%	-3%	9%	-16%	-22%	-1%			
府中町	-13%	0%	1%	-5%	-7%	-4%	6%			
海田町	-7%	6%	0%	-3%	-17%	12%	3%			
神辺町	1%	6%	0%	3%	5%	8%	2%			
熊野町	2%	4%	-5%	4%	-1%	2%	-3%			
坂町	2%	2%	14%	-20%	12%	10%	-6%			
江田島町	-16%	6%	2%	-2%	3%	-7%	4%			
音戸町	-3%	-2%	1%	1%	3%	2%	1%			
倉橋町	-1%	-10%	5%	6%	6%	-7%	7%			
下蒲刈町	-29%	-4%	-2%	9%	-2%	5%	2%			
瀬川町	-6%	3%	0%	-3%	3%	1%	-21%			
大野町	-9%	-4%	0%	3%	-4%	-7%	12%			
湯来町	-11%	-1%	-6%	10%	-19%	-3%	0%			
佐伯町	-7%	-2%	-9%	-3%	-14%	-6%	-8%			
吉和村	40%	-22%	-38%	-15%	-44%	-2%	-25%			
宮島町	12%	-4%	27%	99%	15%	-7%	53%			
熊美町	-1%	4%	-5%	9%	6%	-11%	5%			
沖美町	-4%	3%	-13%	-2%	-8%	1%	8%			
大柿町	-6%	-8%	9%	7%	-11%	0%	13%			
加計町	-1%	-3%	-9%	2%	-3%	-4%	1%			
菅賀村	1%	-14%	-3%	22%	19%	-23%	2%			
戸河内町	-6%	-9%	17%	-5%	-15%	-6%	10%			
芸北町	-1%	5%	-10%	12%	-21%	-13%	3%			
大朝町	5%	0%	-25%	18%	-13%	-9%	3%			
千代田町	-4%	-3%	2%	-6%	-2%	-6%	-4%			
豊平町	4%	10%	-14%	-2%	-4%	3%	-6%			
吉田町	-4%	-1%	1%	5%	-3%	0%	-4%			
八千代町	-14%	13%	-9%	16%	-4%	0%	11%			
美土里町	0%	-1%	5%	-11%	3%	-9%	18%			
高宮町	-9%	4%	0%	-2%	-12%	-6%	-1%			
甲田町	3%	9%	-8%	-4%	2%	6%	-13%			
向原町	-2%	-1%	17%	-14%	7%	-12%	33%			
黒瀬町	32%	-7%	-6%	8%	-9%	-18%	1%			
福富町	10%	-8%	-5%	1%	2%	-20%	-7%			
豊栄町	18%	9%	-14%	8%	-4%	8%				
大和町	-1%	1%	17%	-11%	1%	2%	12%			
河内町	4%	0%	-2%	-9%	-2%	-5%	5%			
本郷町	-6%	0%	12%	2%	0%	1%	6%			
安芸津町	-1%	0%	-3%	0%	2%	-1%	-8%			
安浦町	-7%	-6%	1%	-7%	-4%	-4%	-7%			
川尻町	6%	-14%	1%	-6%	-5%	2%	-18%			
豊浜町	5%	8%	2%	-13%	6%	11%	8%			
豊町	2%	3%	19%	15%	3%	-1%	2%			
大崎町	2%	4%	10%	-6%	-11%	2%	6%			
東野町	6%	18%	18%	-27%	2%	13%	20%			
木江町	15%	4%	-19%	13%	14%	5%	-16%			
瀬戸田町	0%	4%	-5%	-1%	2%	-1%	-7%			
御調町	-5%	1%	9%	3%	-6%	-6%	10%			
久井町	-1%	4%	-1%	-6%	-14%	-2%	-2%			
向島町	-3%	-5%	8%	-8%	-3%	-2%	-7%			
甲山町	-2%	3%	-2%	6%	-9%	-2%	1%			
世羅町	4%	3%	17%	-19%	5%	-3%	-6%			
世羅西町	7%	7%	7%	-11%	10%	-7%	0%			
内海町	2%	-7%	-2%	-14%	-4%	-5%	-5%			
沼隈町	-6%	-8%	16%	-6%	-8%	-3%	4%			
新市町	-7%	7%	1%	-6%	-1%	10%	-1%			
神石町	9%	-1%	-2%	-6%	18%	-18%	-1%			
油木町	8%	-4%	-10%	8%	3%	-7%	-2%			
豊松村	-5%	4%	-1%	31%	1%	-16%	11%			
(神)三和町	-4%	2%	-20%	6%	10%	-1%	-11%			
上下町	4%	-7%	-6%	11%	-1%	-13%	6%			
総領町	-5%	-8%	7%	-11%	2%	-22%	-3%			
甲奴町	8%	-12%	-2%	8%	-14%	-5%	-15%			
君田村	-5%	-22%	-10%	4%	-2%	-17%	9%			
布野村	5%	7%	-19%	0%	-17%	14%	-12%			
作木村	3%	-16%	4%	-11%	-9%	-18%	-1%			
吾舎町	-2%	-5%	8%	-11%	6%	-18%	13%			
三良坂町	-15%	5%	-2%	-3%	-13%	-16%	4%			
双三和町	6%	6%	-11%	10%	-17%	3%	-4%			
西城町	-9%	-1%	5%	14%	2%	-14%	0%			
東城町	0%	-4%	8%	2%	-3%	-6%	3%			
口和町	5%	1%	-12%	18%	-5%	2%	-12%			
高野町	-9%	-10%	17%	-1%	-17%	-13%	9%			
比和町	-13%	8%	1%	13%	-3%	-3%	3%			

3. 分析結果

(1) 流出率・帰還率変化の定性的考察

はじめに、表1, 2, 3の時系列比較表をもとに大きな変動を確認した市区町村について、その変動がどのような要因によって発生したのかについて定性的な考察を行った。流出率、非帰還率それぞれの定義より流出率では設定した年代の20年後、非帰還率では25年後における事象がそれぞれの指標に与える影響が大きいと考えた。

広島市中区、南区、尾道市、呉市、東広島市、坂町、黒瀬町、福山市、本郷町、は流出率、非帰還率についての増減が認められた市区町村だがその増減に対して高校、大学などの教育機関の新規開設また廃校といった動きに対して連動するような数値上の流れがみられた。

また広島市中区、本郷町、筒賀村、戸河内町に関してはインフラの整備、また廃止に対して連動するような流れがみられた。広島市中区ではJRの駅が新設されており、アストラムラインとの中継点としての役割を持つ本駅が広島市中区に住む若者への定住、また流出に関する動きに対して影響を与えたものと推察する。また本郷町では広島空港の新設と非帰還率の増加との連動するような動きがみられた。もともと広島市西区にあった現広島西飛行場から空港機能を移すような形で新設された広島空港は現在では中国地方でも最大の利用者数を誇る有数の空港となっており、この施設が地元若者に対する定住、流出行動に影響を大きく与えたと推察される。また

表-4 定性的考察

変動のあった市区町村	データ上的変動	想定される要因
広島市中区	S51～S55からS56～S60にかけて総数流出率12%減	H7 広島大学 転出
	S61～H2からH3～H7にかけて総数非帰還率40%増	H27 JR 新白鳥駅 新設
	S61～H2からH3～H7にかけて総数流出率24%増	H16 並木学園高等学校 開設
尾道市	S51～S55からS56～S60にかけて総数流出率11%増	H13 尾道大学 開設
呉市	S51～S55からS56～S60にかけて女性流出率11%増	H7 広島国際大学 開設
東広島市	S46～S50からS51～S55にかけて総数流出率22%増	H7年 広島大学 転入
坂町	S56～S60からS61～H2にかけて総数流出率15%増	H12 立志館大学 開設
	S61～H2からH3～H7にかけて総数流出率9%減	H15 立志館大学 廃校
広島市南区	S56～S60からS61～H2にかけて男性流出率21%増	H21 広島都市学園大学 開設
黒瀬町	S46～S50からS51～S55にかけて総数流出率29%増	H10 広島国際大学 開設
福山市	S61～H2からH3～H7にかけて男性流出率11%増	H23 福山市立大学 開設
本郷町	S46～S50からS51～S55にかけて男性非帰還率8%増	H5 広島空港の新設
	S56～S60からS61～H2にかけて総数流出率11%増	H17 広島県立総合技術高等学校 開設
筒賀村	S51～S55からS56～S60にかけて総数非帰還率26%減	H15 JR 可部線 一部廃線
戸河内町	S51～S55からS56～S60にかけて総数非帰還率13%減	H15 JR 可部線 一部廃線
宮島町	S61～H2からH3～H7にかけて総数流出率31%増	H8 広島神社世界遺産登録
瀬戸田町	S51～S55からS56～S60にかけて女性非帰還率16%増	H11 しまなみ海道の全線開通
因島町	S51～S55からS56～S60にかけて男性流出率57%増	H11 しまなみ海道の全線開通
沼隈町	S51～S55からS56～S60にかけて男性非帰還率32%増	H9 11社併合 常石ホールディングス株式会社設立

筒賀村，戸河内町はそれぞれJRの駅が存在していたが可部線の一部廃線によって廃止されてしまった。広島市の中心部まで通っている本線の駅の廃止が若者に与えた影響が大きいものであったことが推察される。

また数少ない例ではあるが地元の産業の発展によってこれらの指標に増加傾向がみられた例もある。

また宮島町においては地元大きな観光資源が存在し，地元の産業などに関しても観光中心であったという背景が存在する。そのような中で厳島神社の世界遺産登録によって国内外を問わずに観光客数は大きく増加した。そのことが地元の産業の発展に寄与し若者の定住，流出に影響を与えたものと推察される。また，沼隈町に関しても宮島町と同じように地元大きな基幹となる産業を持っており，この町は造船業とともに発展していった町である。そのため今回の例でも造船業の発展によって指標が増加したような動きが見られたため，影響を与えているものと推察する。

これらの結果から，人口減少傾向の抑制のためには，観光や産業活性化等の民間主導型の改善となっている例は少なく，国家や県レベルのインフラや基盤施設の整備や廃止が大きな影響を与えていることが示唆される。

参考文献

- 1) 藤岡光夫(1993):「過疎地域における人口流出の要因と流出構造」, 経済科学論集, pp113-159
- 2) 作野広和(1986):「広島県山間集落における過疎化過程の地域的差異」, 人文地理 / 人文地理学会 編46巻, p22~42
- 3) 後藤菜月・平田輝満(2015):「市町村単位の年齢構成バランスと地元定住度に関する研究—茨木県を対象として—」, 土木学会論文集D3, pp305-312
- 4) 三井田圭右(1984):「新潟県入広瀬村の地域開発」, 1 経済地理学会 30巻, pp278-293